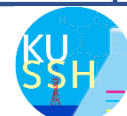




Beyond KUSS , 2024 !!



11月が始まっています

11月になりました。17時を過ぎるとずいぶん暗くなっています。受験生にとっての11月はどのような時期でしょうか。

11月、学校推薦型選抜の出願が始まります。総合型選抜の最終合格発表が始まります(共通テスト利用の国立大学の場合、最終合格発表は2月です。出願から合格発表までの期間が非常に長いです)。

出願・受験したら必ず合否結果が出ます。「特別選抜は合格するチャンスが大きい」と考えている人は、勘違いです。「難関国立大学の特別選抜は出願チャンスが増える」というのが正しい理解です。合格するチャンスが大きいわけではありません。

本校でも共通テスト模試を先週に実施しました。10月後半からいろいろな業者の模擬試験が行われています。10回生でも受験する人がいると思います。くれぐれも「模試倒れ」にならないように注意しましょう。

模擬試験、受験する限り有効に利用しましょう。大学別模試は、主催業者が本番を想定し出題します。出題傾向だけでなく、問題冊子や答案用紙も本番を想定したものです。受験するだけ終わるのではなく、受験後もしっかり利用しましょう。答案返却後に再度問題に取り組みましょう。また、本番の受験前にも問題に取り組みましょう。受験するだけで終わってしまうのは、費用と時間のムダです。自分のために役立ててください。

進路希望調査集計結果

今回は従来どおりの「第1志望」の調査と「出願予定校」を調査しました。「出願予定校」は、国公立：前期・後期・中期・独自日程、私立等5出願まで調査しました。右表は「第1志望」集計結果です。あいかわらず、コード番号間違い、入力箇所の間違いなど、手続上のトラブルが目立ちます。

7月三者面談時と比較すると、
1 東大が増加し、神戸・京都・大阪が減少。
これら四大学志望総数は、ほぼ同数です。

2 私立大学は微増です。 3 医学科志望はほぼ同数です。

出願予定校調査は以下の特徴があります。

- 1 「第1志望」を国公立大学とする102名のうち、29名が後期日程の出願予定なし。公立中期日程は18名が出願を予定しています。48名は私大出願予定なし。
- 2 全般的傾向として、国公立大学の日程について十分な理解ができていなかったり、何のために出願を検討しているのかが不明な人が目立ちます。

省略

<保護者の方々にも読んでいただきましょう>

『Beyond KUSS , 2024 !』など進路課が発信する情報の一部をHPに掲載しています。

共通テスト模試科目別得点度数分布(自己採点集計)

省略

自己採点、しっかりできましたか。十分でない人が目立ちます。

共通テスト本番での自己採点は、合格までの学習計画を立てるために必要な作業です。共通テストの自身の位置を知り、二次試験に必要な学習を判断する重要材料になります。出願先を決めるために自己採点するわけではありません。

自己採点段階では、多くの科目が前回は上回っています。また多くの科目が7回生~9回生の同時期の成績を上回っています。全国の場合と正確な得点は現段階ではわかりませんが、10回生の平均値はそれなりの位置にあります。しかし、ひとりひとは、個々の課題があります。その課題を理解し、克服できる人が共通テスト本番でも安定した得点が可能です。

現在の自分の状況を冷静に判断し、次への歩みを進めていきましょう。

特別選抜出願(冬)スケジュール

12月22日(金)~1月31日(水)までに
出願開始の特別選抜について、様式1他の提出書類一式を11月22日(水)までに提出してください。

<保護者の方々にも読んでいただきましょう>

『Beyond KUSS, 2024!』など進路課が発信する情報の一部をHPに掲載しています。